

<Japan Buy-out Deal Conference 2024>

企業価値向上シンポジウム

～カーブアウト型 M&A の新たな形と日本のバイアウト市場の展望～

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、<Japan Buy-out Deal Conference 2024> 企業価値向上シンポジウムを開催することになりましたのでご案内させていただきます。

第 I 部では、2024 年 12 月下旬に株式会社中央経済社より刊行予定の『新・事業再編とバイアウト—事例選—』の出版記念シンポジウムを開催します。近年、事業ポートフォリオの変革を推進する日本の大手企業から子会社や事業部門が独立するケースが多数登場しています。また、大企業の事業部門が切り出され、新会社として独立し、売手である事業会社とバイアウト・ファンドが共同株主となり企業価値向上を目指す「カーブアウト」に該当するケースも増加しています。そこで、最新の事例紹介と実務に焦点をあてた討論を行います。第 II 部では、近年急拡大している日本のバイアウト市場の現状を振り返りつつ、案件の創出に向けた討論を行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

開催要領

【日時】

2024 年 12 月 18 日 (水) 13:00~18:45 (12:20 受付開始)

【場所】

大手町サンケイプラザ (東京都千代田区大手町 1-7-2) 4 階ホール (※オンラインでのライブ配信は行いません)

【参加費】

1 名 38,000 円 (税込)

【参加対象】

- 大手企業の経営者、経営企画部門 (M&A 担当、事業企画担当、戦略担当)、財務部門・法務部門
- 中堅・中小企業の経営者、プロフェッショナル経営者、プロフェッショナル CFO
- 金融機関 (大手銀行、地方銀行、証券会社) の M&A アドバイザリー担当、法人営業担当、LBO ファイナンス担当、LP 投資担当
- M&A 支援機関 (M&A 仲介会社、M&A アドバイザリー会社)、プロ経営人材を扱う人材エージェント、弁護士、会計士、税理士
- バイアウト・ファンド、ベンチャー・キャピタル・ファンド、グロース・キャピタル・ファンドの投資担当者

【お申し込み方法】

申込書での FAX 送信か Web サイト上 (<https://www.jbo-research.com/>) で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

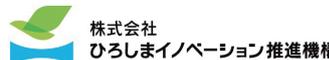
【注意事項】

シンポジウム会場内での録画・録音・撮影は固くお断り致します。また、配布資料の無断転載やシンポジウムに関する事項をインターネット上へ記載することや SNS への投稿なども禁止します。なお、弊社のシンポジウムでは、参加者リストの開示は一切行っておりません。

Lead sponsors



Co-sponsors



主催：株式会社日本バイアウト研究所 協力：株式会社中央経済社

URL: <https://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

プログラム

第Ⅰ部 『新・事業再編とバイアウト—事例選—』(中央経済社)出版記念シンポジウム

刊行の背景と近年の事業再編型バイアウトの動向 (13:00-13:30)

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

基調講演 (13:30-14:20)

テーマ: 日本企業の事業再編における戦略的視点 ~成功裡に進める準備とバイアウト後の企業価値向上の論点に焦点をあてて~

株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 森谷健氏

株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 小高正裕氏

<概要>

本プレゼンテーションでは、地政学リスクを考慮に入れた企業グループの再構築の必要性が高まるなかで、事業再編において経営者に求められる視点と事業ポートフォリオの変革の進め方について解説する。また、バイアウト・ファンドを中心とする外部資本の導入によるバリューアップの主要論点について、経営基盤の強化とスタンドアロン化に焦点をあてて概説する。

休憩 (14:20-14:30)

事例紹介①プレゼンテーション (14:30-15:00)

テーマ: 日本企業の事業ポートフォリオの変革とバイアウト・ファンドの活用 ~子会社独立・カーブアウトと上場企業の非上場化の事例~

インテグラル株式会社 ディレクター 野村宗広氏

<概要>

本プレゼンテーションでは、コア事業への経営資源集中による新たな成長を目指す企業グループの子会社独立(製造業)、外部資本の導入による戦略的カーブアウト(小売業)、事業ポートフォリオの変革を目指す上場企業の非上場化(サービス業)などの事例を紹介する。

事例紹介②インタビュー・セッション (15:00-15:45)

テーマ: 大企業の事業部門の独立企業化におけるバイアウト・ファンドの活用 ~テクセンドフォトマスクの事例~

テクセンドフォトマスク株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO ニノ宮照雄氏

インテグラル株式会社 ディレクター 屋城勇仁氏

聞き手 アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 ディレクター 林徹氏

<概要>

本セッションでは、インテグラルの常駐支援メンバーが、半導体用フォトマスクメーカーであるテクセンドフォトマスク(旧トッパンフォトマスク)の経営陣・従業員と一体となり、資本参画後の経営体制の強化およびスタンドアロン化を通じた企業価値向上に従事してきた一端を紹介する。また、独立企業体としての新会社設立から現在に至るまでの経験に基づき、大企業の事業部門の分社化を企図するカーブアウト型バイアウトの成功ポイントについて考察する。

コーヒーブレイク (15:45-16:05)

事例紹介③インタビュー・セッション (16:05-16:50)

テーマ: 大企業子会社とバイアウト・ファンドとの戦略的パートナーシップ ~SOMPO オークスの事例~

SOMPO Light Vortex 株式会社 取締役会議長 榎崎浩一氏

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 ディレクター 山田真也氏

聞き手 アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 取締役 山本恵亮氏

<概要>

本セッションでは、戦略的パートナーとしてバイアウト・ファンドを活用するに至った背景および旧親会社グループに依存しない独立した企業体となるためのスタンドアロン化の推進について概説しつつ、大企業子会社による外部資本の受け入れの意義と資本パートナーとの共同施策のあり方について議論する。また、ロールアップ型 M&A を通じたプラットフォーム構想の実現可能性について考察する。

法務解説 (16:50-17:05)

テーマ: カーブアウト型バイアウトの法的留意点 ~売主が株主として残存するケースにおける特有の論点とスタンドアロン問題~

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 佐橋雄介氏

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 中野常道氏

休憩 (17:05-17:15)

第Ⅱ部 日本のバイアウト市場の動向 ~新たな潮流と将来展望~

マーケット・レビュー (17:15-17:35)

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

パネルディスカッション (17:35-18:45)

テーマ: 日本のバイアウト市場の潮流と発展性 ~ディールメイクの現場から見る将来展望~

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 パートナー 野呂瀬和樹氏

サンライズキャピタル株式会社 エグゼクティブディレクター 安形栄胤氏

インテグラル株式会社 パートナー 山崎壯氏

株式会社 KPMG FAS マネージングディレクター 横倉淳史氏

司会者 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

本パネルディスカッションでは、事業再編による子会社独立およびカーブアウト案件に加え、非上場オーナー企業の事業承継、上場企業の非上場化を伴う案件などを含め、案件の多様化および大規模化が顕著となっている日本のバイアウト市場のディールメイクの真髓に迫りつつ将来展望について語る。また、日本の M&A 市場におけるバイアウト・ファンドの役割について再考し、あるべき資本構成を模索する日本の中堅企業に対しての次なるキーポイントを共有する。